

# 埼玉県防災士会研修資料

2-2

## 災害時の情報・通報要領

C案

2023.09

K2

# 被災者から寄せられる声

大切な命や財残を失ってしまった被災者からのことば

《信じられない》

そんなことは起きる筈がないと思っていた

《こんなことは生まれて初めてだ》

今までに経験したことがないことが起きた

《まさかこんなことになるとは》

想像を超えるような被害に為す術を失う

※正確で迅速な情報伝達と平素の啓発が正常性バイアスを払拭する

# 災害時には情報が錯綜する

## <情報収集手段の確保>

大規模災害では広域停電が発生する惧れがある

電池やバッテリーを電源とするポータブルTV・ラジオ・スマートフォン・トランシーバー等により情報の収集・発信を行うことになる

⇒電池やバッテリーの予備・蓄電装置・発電機で情報断絶を回避

## <デマに翻弄されない>

防災無線の情報以外に人伝の情報・SNSの情報等デマはつきもの

「～らしいです」「メディアで発表していないけど」「友達にも知らせて」

⇒判断を誤り事態を悪化させる(出処不明の情報に飛びつかない)

# 災害情報の種類

## 【災害発生前の情報】

### ①気象災害が起きる可能性

台風の接近・爆弾低気圧の接近・線状降水帯の接近・南岸低気圧の接近

### ②被災しないために

注意報・警報・特別警報

## 【災害発生後の情報】

### ①安否確認(自治会・町会・管理組合・事業所)

### ②避難所開設(市町村)

### ③被害状況 (道路・橋梁・電気・ガス・水道・電信電話)

# 災害発生前の情報

《災害の発生・危難が予測できる》

気象庁では注意報・警報・特別警報を発出している

## 16種類の注意報

大雨・洪水・強風・風雪・大雪・波浪・高潮・雷・融雪・濃霧・乾燥・雪崩・  
低温・霜・着氷・融雪

## 7種類の警報

大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雨・波浪・高潮

## 6種類の特別警報

大雨(土砂災害・浸水害)・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮

# 災害発生後の情報

## 《安否確認》

発災時に電話は輻輳が発生し通話が困難となることから複数の安否確認手段でバックアップ

### ■音声メッセージ

#### 【災害用伝言ダイヤル】

- ①171をダイヤル
- ②録音は1、再生は2を押す
- ③相手先電話番号を市街局番から押す
- ④伝言を録音または再生

## 【災害用音声お届けサービス】

携帯電話やスマートフォンなどから家族の携帯電話番号を入力すると録音した音声メッセージが相手の携帯電話に伝送される

### ■文字メッセージ

## 【災害用伝言版】

①インターネットで「web171」にアクセス

②予め決めた電話番号(固定・携帯・IP)を入力し、安否メッセージを登録・確認

## 【携帯電話の災害用伝言版】

携帯電話各社が提供する災害用伝言版

メッセージの登録は自分の通信会社サイトから

メッセージの検索/確認は他社の番号も可能

## 【Googleパーソンファインダー】

- ①インターネットで「Googleパーソンファインダー」にアクセス
- ②名前を入力し、安否情報を登録/検索することができる

## 【SNS】

ツイッター・フェイスブック・LINEなどSNSに自分の状況を投稿することで家族や友人に安否を連絡できる

## 【スマホの災害用アプリ】

NTTドコモ・au・ソフトバンク等アプリをダウンロードして操作

## 【J-anpi】

各種災害用伝言板や報道機関・企業等が提供する安否情報を検索

- ①インターネットで「J-anpi」にアクセス
- ②電話番号や名前で検索



## 《避難所》

### 【Yahoo！防災速報アプリ】

防災手帳のコーナーから、災害の種類ごとに避難場所を探して登録できる

## 《被害の状況》

### 【NHKニュース・防災アプリ】

現在の位置や登録地域に応じて状況を確認することができTVの情報も入手できる

## 《外国語の災害情報》

### 【Safety trips】

14ヶ国の言語で災害時の情報を提出がされる

# 通信手段

## ■ラジオ

老若男女誰でも情報収集ができる(ラジコでスマートフォンでも可能)

## ■スマートフォン

基地局の被害状況によるが送信・受信が可能

SNS以外に様々なアプリで情報手段の多様性がある

## ■トランシーバー

【特定小電カトランシーバー】

ライセンスフリーであるが通信距離は1kmくらい

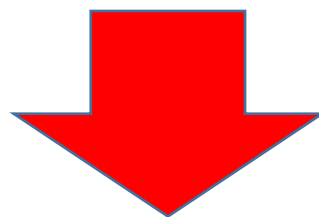
【デジタル簡易業務用無線機】

登録局・免許局が選択でき、通信距離は5kmくらい

# 共助に必要なローカル情報

《緊急性のある情報》

ライフラインの破壊による局地的な漏水・漏電・ガス漏れ(LPG)・道路の陥没など市町村のホームページにタイムラグが生じる惧れがある



- ・発見次第、電子デバイスに限らず掲示物で告知
- ・立ち入り禁止など二次災害の発生を防止する！

# <参考資料>

■平成28年8月版：防災士教本（日本防災機構）

第5講災害とライフライン

第21講災害情報の発信と入手

第23講公的機関による予報・警報